

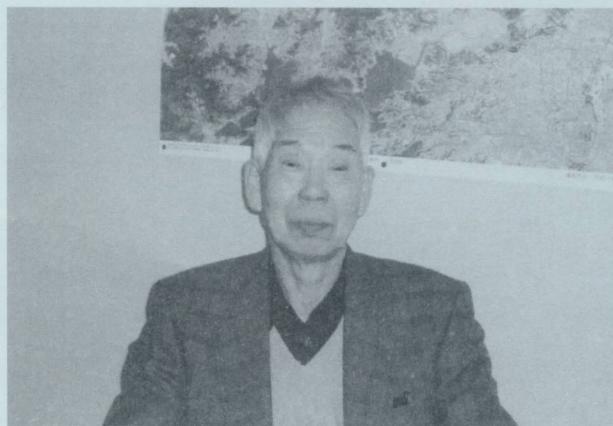
## 新年のご挨拶

三方原地区社会福祉協議会  
会長 飯尾 和 宣

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

三方原社協も平成17年2月発足以来、約3年と成りました。発足時は会を立ち上げただけで、何をしたら良いのか分からず、役員会で検討を重ねる状態でした。その後既存社協と連絡をとり活動状況を調べたり、又、教えて頂き、市福祉協議会の講習等に参加し各種の活動を起こすようになりました。18年19年は活動も地につき、社協だよりの発行、子育て支援、高齢者との交流、地域ふれあい餅つき大会、等々各種事業を通じ社協の存在を地域の方に認識して頂けるのを目標として役員一同活動しています。

本年度は各種事業をさらに充実させ、三方原地区に無くてはならない組織にしていきたいと考えています。地区のボランティア団体、各種の同好会の皆さまにも参加して頂き広く活動の場を広げたいと思いますので宜しくお願いします。



三方原社協会長 飯尾和宣

### 初生南

## 地域ふれあい餅つき大会



### 三方原社協支援事業

12月2日（日）地域の活性化と地域住民の連帯感を更に高めるために自治会全体を対象にした、ふれあい餅つき大会を実施、当日は天気に恵まれ子供からお年寄りまで、多くの方が参加され「ふれあい」のある会となり大盛況でした。

主催 初生南子供会  
凧揚げ会



餅つき大会風景

社協支援金受取り

地域の

高齢者部会

# お年寄り交流会

開催日 11月3日(土)  
場所 初生北公会堂  
時間 午前10時～午後1時30分

『お元気ですか。  
みんなで話を聞いたり、  
アトラクションやゲームを  
したり、昼食をしたりして  
楽しく過ごしてみませんか。』



と、呼びかけた会には41名の方が出席されました。地域の有志による、踊り、寸劇(振込み詐欺に注意)で盛り上がり又、ハーモニカに合わせて懐かしい唱歌を(故郷もみじおぼろ月夜等)歌い、楽しいひとときを過ごしたあとの昼食では隣の人と話がはずみました。

たいへん好評な交流会となりました。



交流会



楽しい交流会風景

# 公開災害講座

「東海地震に備えていますか  
災害ボランティアとして活動しよう」



共催 社会福祉協議会  
平成19年11月25日(日)  
会場 百園会館

災害発生時に被災者側ではなく  
ボランティア(助ける側)  
になるためには

自分の命は自分で守り、自分の地域は隣近所の皆で守るためには、自分が被災者にならないよう常に万全な備えをして、いざ発生時には隣近所・地域を助ける側のボランティアで活動する為にはどうしたら良いか……

45人の出席者全員が真剣に最後まで熱心に受講されました。



耐震実験風景



熱心に受講中 講座風景

# 三方原地区社協研修会

10月24日(水)

- 北名古屋市総合福祉センター
- 「もえの丘」
- 「回想法センター」

19年度の研修会は北名古屋市の総合福祉センターと回想法センターを訪問しました。

北名古屋市は小牧IC周辺に位置する市です。総合福祉センターは市により運営を行っているため規模はとて大きく立派です。

浜松市にも区に一つぐらいこのような施設がほしものです。

さて、施設は4つのセンター(組織)が集まった総合センターのため其々の組織が活動する形態を取っていることにより、幅の広い取組みを行っている総合福祉センターになっていました。

- ①ふれあいセンターは囲碁、将棋、浴室、カラオケ、食堂、健康ルームなど
- ②地域福祉センターは介護支援ホームヘルパーサービス、ディサービス
- ③高齢者健康センターは機能回復訓練、講座等
- ④社協センターは地域の福祉活動の拠点として福祉事業の取組みを行っている。

子どもからお年寄りまでが集えて心のふれあいとやすらぎを与える、多目的な機能を有している施設で非常に充実している点に感心しました。

施設は2階建ての東西のウイングに分かれた、とてもユニークなデザインとなっている。

施設内は広いスペースと自然光を最大限に取入れられているため室内でうける雰囲気がとても健康的に感じました。子どもから高齢者まで対象にした施設のため他の施設と少し違いを感じさせる明るさがあった。将来三方原に施設が出来る時には参考にしたいものです。



研修参加者

## 回想法センター (昭和日常博物館)

回想法とは高齢者が昔懐かしい生活用品などを用いて、過去のことに思いをめぐらしたりすることにより脳を活性化させ生き生きとした自分を取戻そうとする療法が回想法であります。

この回想法をいち早く取り入れ実施しているセンターの見学を行いました。開催日でないため実施場面は見ることは出来ませんでした。施設自体が回想法にふさわしい昔懐かしい旧家を活用していることには、感心しました。

回想法の附帯施設である昭和日常博物館は見る事が出来ました。回想法に使用する昭和30年代の日常生活用具が数多く展示されていました。展示物を見てメンバー全員が話に盛り上がりすでに回想法を実践していました。

私たちの社協に近い将来取入れることの出来る手法だと思いました。



回想法に使用する昔懐かしい生活用品

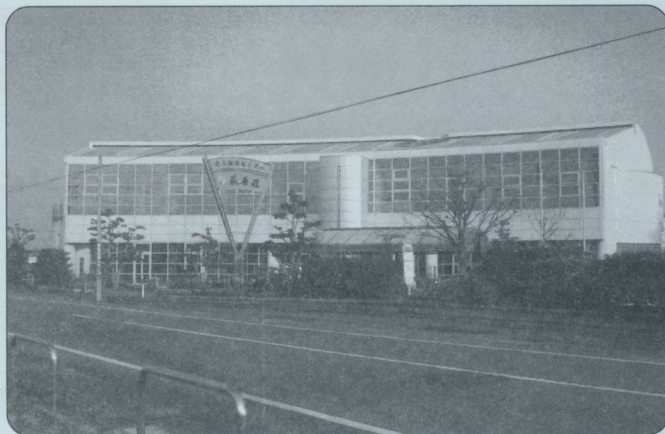
# 三方原の 福祉施設 の紹介



シリーズ 3

浜松市  
老人福祉センター 萩原荘

浜松市北区初生町1番地 TEL/FAX 053-439-4178



●萩原荘の前面

老人福祉センター萩原荘は、平成3年4月に60歳以上の市民の皆さんが教養を高めたり、健康増進やレクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある生活を送っていただくために初生町1番地に開設されました。

センターでは陶芸教室・書道教室・七宝焼教室・大正琴教室・栄養教室等、数多くの教養講座を開設しており、またカラオケ・民踊・詩吟・墨絵・茶道・俳句・ストレッチ体操等、40の同好会の皆さんが活動しています。

健康相談事業として月1回、医師・保健師による相談を行っています。

また、センターには、風呂・健康器具・カラオケ・囲碁・将棋・卓球・玉突きなどが設備されており、毎日260人余の方が利用されています。

センター利用については無料です。

地区別では、萩丘地区47%・三方原地区17%・曳馬地区10%・その他の地区が26%の状況で利用されています。

また、平成12年4月より高齢者生きがい活動支援事業（元気はつらつ教室）が開設されました。この事業は、介護保険サービスの対象にならない65歳以上の比較的元気なお年寄りを対象に手芸等の趣味活動・遠足・軽体操などの健康保持増進活動等を行っており、毎週1回決まった曜日に専用バスで自宅近くまで送迎しています。（利用料は1回1,100円）

皆さんの地元を設置しております、浜松市老人福祉センター萩原荘をお気軽にご利用いただくことを職員一同心よりお待ちしております。



●萩原荘前面入口



●萩原荘北側の浴場塔